

# レンタルサーバー選択のトレンド

## 利用目的の見極めが導入・乗り換え成功のポイント

このコーナーは、注目の製品やサービスについて、それを支える技術や市場動向の解説(セミナー)と具体的な商品を紹介(展示)する、バーチャル展示会。今回のテーマは「レンタルサーバー」。ここにきて低料金、高機能のサービスも出揃い、中小企業を中心に導入の機運が高まっている。ここでは、最近の市場動向とサービスの選択について解説する。

text: 狐塚 淳

### ネットの高速化と共用サーバーの低価格化による市場の掘り起こし

レンタルサーバー市場が拡大している。『インターネット白書 2005』によれば、半数近い企業がすでにデータセンターやレンタルサーバーを利用している(図1)。一部の大企業では機密性を重視して、レンタルサーバーの利用を避ける場合もあるが、昨年から今年にかけて、中小中堅の企業のデータセンター利用が熱気を帯びている。

レンタルサーバーのビジネス利用が注目されるようになったそもそもの原因は、高速なインターネット回線が、大企業ばかりでなく中小中堅企業や、規模の小さな支社や事務所にも当たり前のように入りだしたことによる。高速回線さえあれば、各種サーバーを自社内に置き、社内LAN接続で使うと同様の感覚で不自由なく利用できるようになる。

サーバーを自社内に置くのと外部に置く(サーバーエリアなどを借りる)のとでは、それぞれ一長一短がある。しかし、そうした条件を吟味してレンタルサーバーを利用したいという結論に達したときに一番の選択理由になってくるのはコストだ。近年無料のネットワークストレージサービスなども登場してきており、共用型に関しては、そうした無料サービスとも機能と料金のバランスを比較検討されたうえで、選択してもらえるだけの低価格化が

進んでいる。

この低料金が、現在のレンタルサーバー利用の急増を後押ししている。企業における利用の決裁が下りやすいため、これまで潜在的だったレンタルサーバーニーズが顕在化し、組織の中で検討の俎上に乗やすくなった。そのうえで、共用か専用かという検討も加えられているわけだ。

### 利用目的はウェブサーバーとメールサーバーが圧倒的

『インターネット白書 2005』によれば、レンタルサーバーなどの利用目的では、71.6%の企業が、「社外向けウェブサーバーの運用・管理」を、59.2%が「メールサーバーの運用・管理」を挙げており、第三位の「社内向けウェブサーバー(イントラネット)、VPNの運用・管理」の20.8%を大きく引き離している(図2)。ウェブとメールは、もともと外部とのデータのやり取りがあるので、心理的にも外部に出しやすいのと同時に、最もデータ流量が膨らみやすい部分でもあるため、社内管理の負荷が大きい。この点がアウトソーシングのニーズが高い理由だろう。

社外向けウェブサーバーには、ECサイトも含まれるため、高度な利用を目指すなら、ダウンタイムを極力減らせる体制の取れる、管理のしっかりしたアウトソーシングが求められる。

### セキュリティ負荷の急増がアウトソーシングを加速

レンタルサーバーの利用は設備のアウトソーシングであると同時に人的資産のアウトソーシングであることが、企業にとっては重要だ。サーバーの運用管理にかかわる人的リソースの負荷を外注できることが、近年のレンタルサーバーニーズの急増につながっている。

しかし、なぜここにきてそうした人的リソースの負荷が注目されるのだろうか?

原因の1つは、企業規模が中小の会社にもサーバー利用のニーズが広がっていることだ。いまや、電子メールも自社ホームページもなしに企業活動を行うのは、多くの会社にとって至難の業になりつつある。このため、サーバーの構築・運営へと向かうわけだが、十分なITスキルを持ったシステム管理者が必要とされるだけ存在するわけではない。ITスキルを学習しながら、サーバーの運用を行っていくのは骨の折れる作業であるし、トラブルの原因にもなりかねない。しかし、レンタルサーバーを利用することで、企業のサーバー管理者は、事業者の担当と合って、ITスキルを学習しながら、安全な運営が可能になるし、そこで浮いた工数を、より事業目的に密着したIT業務に割けるようになる。

また、これまでなんとか仕事をこなしてきたシステム管理者にとっても、最近は大

荷が急増している。これは、セキュリティーの問題だ。相次いでOSのセキュリティーホールが発見され、それにセキュリティーパッチを当てているだけで、サーバー管理者の工数がずいぶんと食われてしまう。セキュリティーホールが発見される頻度は非常に増加している。運用サイドも慎重になり、パッチ漏れなどの危険性を回避するために常時OSメーカーのサイトをチェックしたりするなどの負担を強いられていた。こうしたセキュリティーアップデートの作業も、レンタルサーバーにすればアウトソーシングが可能だ。レンタルサーバーの事業者側ではそれに専念する人手を当てられるし、契約サーバーの多くに同じ作業を行えばいいので効率的であり、ミスの発生する確率も低い。

このように、人的リソースのオーバーフローを回避できるという点に、レンタルサーバー業界が活気付いている一番の理由がある。

### レンタルサーバー選択理由のファーストプライオリティー

しかし、レンタルサーバーの利用を考えたときに、多くのサーバー管理者はさまざまな会社から提供されている数多くのサービスの中から、どれを選択すればいいかで、はたと困惑してしまうのではないだろうか？

というのも、レンタルサーバーというのはあくまでも環境や器を提供するものであって、そのサーバーの上で何をすることはユーザー次第であるので、自分の実現したい利用目的やそのために必要なスペック、機能は何かということに自覚的でないとならばサービスの選択ができないからだ。

さらにコストの問題もある。図3はレンタルサーバーの選択理由のグラフだが、回答の1位と2位を占めているのはコストに関する選択肢だ。しかし、これに答えている人は、決して単純にコストだけで

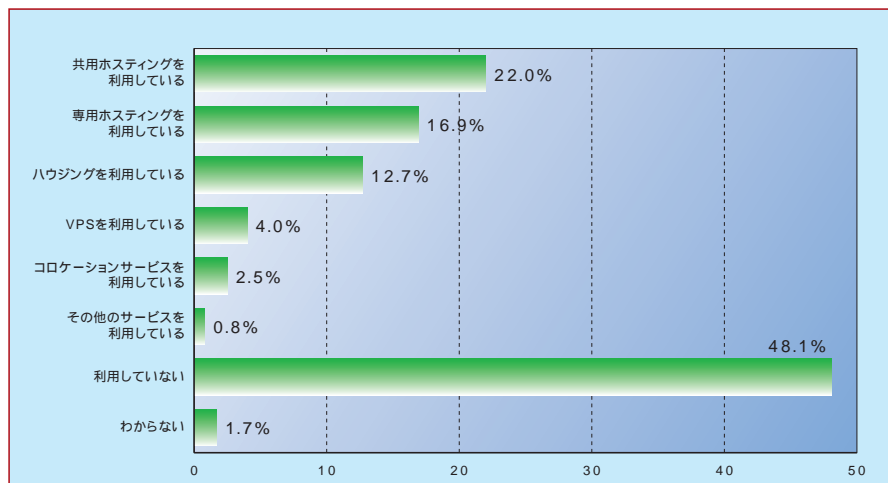


図1 データセンターやレンタルサーバーで利用しているサービス(複数回答 N=1,113)  
出典：『インターネット白書2005』資料3-3-1 (©Access Media/impress, 2005)

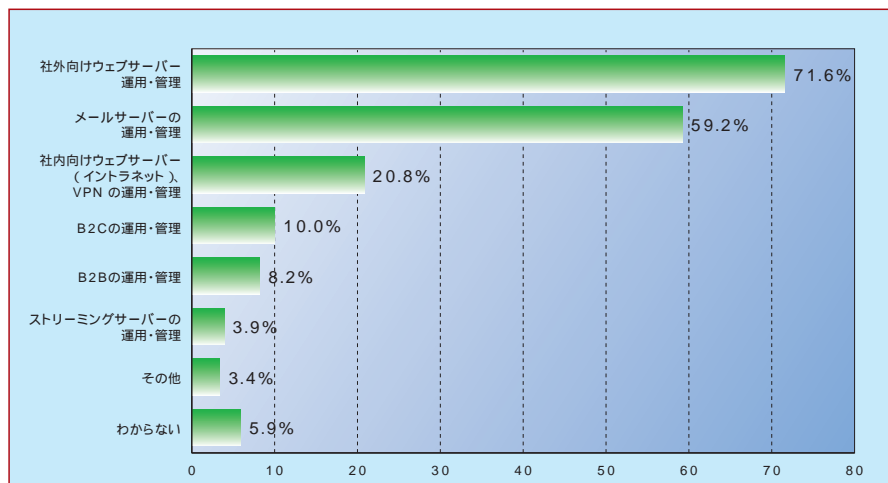


図2 データセンターやレンタルサーバーの利用目的(複数回答 N=559)  
出典：『インターネット白書2005』資料3-3-2 (©Access Media/impress, 2005)

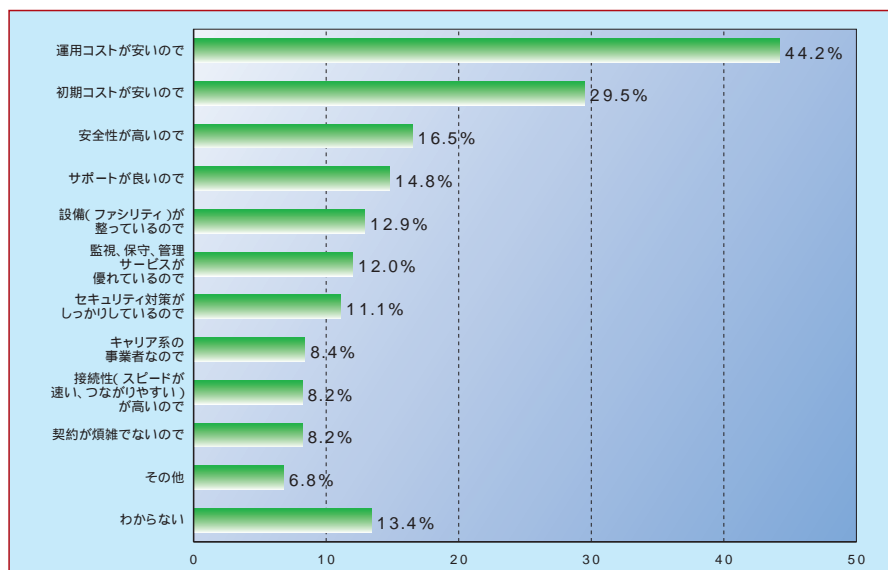


図3 データセンターやレンタルサーバーの選択理由(複数回答、一部抜粋 N=559)  
出典：『インターネット白書2005』資料3-3-5 (©Access Media/impress, 2005)

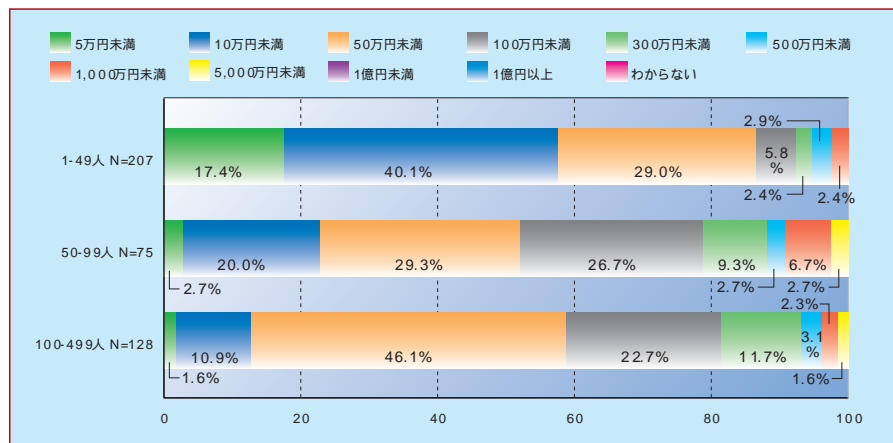


図4 従業員規模別データセンターやレンタルサーバー年間利用コスト(500人未満を抜粋)  
出典『インターネット白書2005』資料3-3-9 (©Access Media/impress, 2005)

サービスを選択したわけではない。

自分(企業)がレンタルサーバーの利用で実現したいことは何か? そのために必要な機能は何か? 当面諦めてもよい機能は何か? そうした機能を提供しているレンタルサーバー業者はどこどこか?

こうした流れの後に、最後にコスト比較でサービスの選択が決定されるわけだ。

つまりまず利用目的ありきなのだが、やはり企業活動は予算、コスト、収益性などお金と切り離して考えることはできない。利用目的そっちのけで「レンタルサーバーも安くなったので……」といった考え方に陥りがちだ。

図4は、中堅から中小企業のレンタルサーバー年間利用コストのグラフだ。従業員数50人未満の企業では10万円未満のコストという答えが6割弱を占めている。低価格化が進んで利用のハードルが低くなっていることは確かだが、目的あつてのコストであるということは忘れてサービスを選択にあたってほしい。

## 利用目的に必要な機能は何か?

### サーバーの種類で考える

しかし、目的ありきとはいっても、レンタルサーバーの利用目的は、個々の企業で異なるし、同一企業でも部署によって

違っていたり、時期によって異なっていたりすることさえある。そのため、業種で分類して利用目的を探などの方法では無理がある。レンタルサーバーの利用目的というのは、どんな種類のサーバーを選択し、どこまでの業務をそのサーバーに分担させるかということだ。それによって、必要とされる機能やキャパシティが決まってくるので、それを基準にレンタルサーバーの選択作業に入れればいい。

最も利用の多い外部向けウェブサーバーの例で見ていこう。外向きのウェブサーバーは、利用形態で3つのグループに大きく分けられる

- ・ 広報・IR利用(情報発信のみ)
- ・ マーケティング利用(利用者の情報収集や意見のやりとりを行う)
- ・ メインビジネス(ECサイト等)

それぞれで、必要な機能や条件は異なってくる。

「広報・IR利用」なら、通常共用サーバーで機能的には十分だろう。企業規模が大きいなどアクセスが多い場合には、通信品質の問題で仮想専用サーバーや専用サーバーの利用も検討すべきだろう。また、独自ドメインが必要な場合は基本料金に含まれるケースもあるので年間

での利用料金に換算して、サービスを比較するとよいだろう。

「マーケティング利用」の場合、個人情報問題が出てくるケースも多いだろう。通信の安全性を求めてSSL暗号化が必要になったり、メーリングリストやデータベース連動が必要になったりする場合などは、専用サーバーを導入すべきだろう。また、共有では独自に購入した解析ツールがインストールできない、あるいはCGIの使用に制限があって、必要な機能を実現できない可能性もあるので、利用条件をしっかりとチェックしよう。

「メインビジネス」の場合には、迷わず専用サーバーを選択すべきだろう。データ流量がそのまま売上や利益に反映されるケースであれば、帯域保証は必須だろう。トラブル時のリカバリー(ダウンタイムを最小にする)体制や、使用マシンのスペック(CPU速度、メモリー、HDD容量など)もきちんと把握して、レンタルサーバーを選択しよう。

とはいえ、個人商店規模のオンラインショップでは、規模的に費用対効果から、共有という選択もあるだろう。そんなケースでは、セキュリティ機能でサービスの比較選択がなされるケースが増加している。個人情報保護法などの関係で一般にもセキュリティへの関心が高まっているため、企業側はセキュリティを重視している会社であることを示し、顧客にアピールしようとしている。レンタルサーバー業者サイドも、これに自覚的で、さまざまなサービスを投入している。

イントラ利用の内向きのウェブサーバーの場合は、2つに分かれる。一般的な情報共有・スケジュール管理までの利用と、よりコアな業務情報やリソース管理などで含めた利用だ。きちんとした線引きは難しく、それこそ企業の事情にもよるだろうが、前者であれば共用も可能だが、グループウェアの利用はけっこうなサー

バー負荷になることもあるので、事前に使い方をよく検討しておく必要がある。また、個人情報保護法とのからみで、VPNやSSLが必要な仮想専用サーバーという選択肢もある。後者の場合は、専用サーバーを選択するのがベターだろう。社内に置いた場合の管理コストとの比較でサービスを選択すべきだ。ウェブサーバー以外の基幹系のサーバーについても、同様のことがいえる。

こうして挙げてくると、専用サーバーのほうがだいたいにおいていいように思えてくるが、しかし、ビジネスで上げられる収益以上のコストはかけられないし、少ないコストで必要な効果が上げられれば、それに越したことはない。あくまでも、自社の活動のうち、どの部分をレンタルサーバー上で展開したいかというのが、選択の際、最初に考えなくてはならないことだ。

### 共用型から専用サーバーへの乗り換えタイミング

これまでは低料金の共用型の主導で利用が伸びてきたレンタルサーバーだが、述べてきたように今後専用型サーバーへの移行ニーズが増加してくることが予想される。

こうしたニーズに対応し、共用サーバーで多くのユーザーを持つサービス業者は、自社の専用サーバーへの移行を推進するだろうし、専用サーバーに特化したサービス業者は、専門性やその他のメリットを強調し、自社サービスへの乗り換えを呼びかけるだろう。

では、現在共有サーバーを利用している企業は、どんなタイミングで専用サーバーへの乗り換えを考えればいいのか？

図5は、ユーザーに近々サービスの乗り換えを考えているかどうかを聞いたものだが、2004年よりは2005年に入って「乗り換え予定」は多少減少しているが、「乗り換える予定はない」も64.2%から46.3%へと大きくパーセンテージを減らしている。サービス同士の競争が、クオリティの向上をもたらしてはいるのだろうが、共用から専用サーバーへというユーザーニーズの成長は、それを上回る速度で伸びているようだ。

より適正なコストで、より高度な顧客サービスを実現できるタイミングが、事レンタルサーバーにおいては、すでに訪れているといえる。一度の選択に満足することなく、新しい選択の可能性を考えてみるべきではないだろうか。

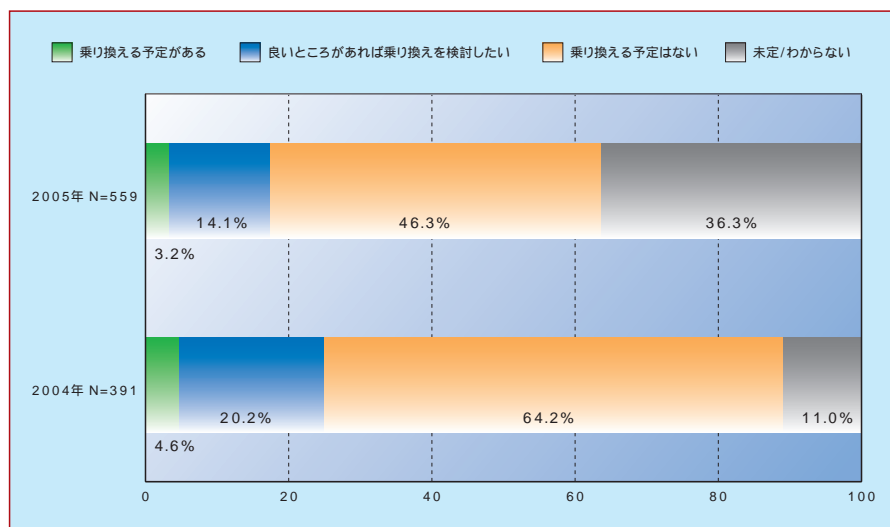


図5 データセンターやレンタルサーバーの1年以内の乗り換え予定。

出典『インターネット白書 2005』資料3-3-6 (©Access Media/Impress, 2005)

### 出展企業一覧

AT-LINK 専用サーバ・サービス  
AT-LINK 専用サーバ・サービス p.98

パワープラットフォームホスティングサービス  
NTTコミュニケーションズ p.100

さくらインターネット  
さくらインターネット p.102

アイル ホスティングサービス  
アイル p.104

@YMC  
アット・ワイエムシー p.105

サイトサーブ  
Eストアー p.106

バーチャルウェブ  
ネクストウェブ p.107

Domain Keeper  
ハイパーボックス p.108

@hi-ho  
パナソニック ネットワークサービスズ p.109

WADAX  
ワダックス p.110

セミナーを終えたら  
展示会場で  
商品をチェック

Exhibition Hall

専用レンタルサーバーのニーズをすべて提供する

## AT-LINK 専用サーバ・サービス

AT-LINK 専用サーバーサービス

[URL] <http://www.at-link.ad.jp>

共用レンタルサーバーの利用は急増しているが、とくに法人ユーザーにとってその利用期間は、専用レンタルサーバーを利用するためのスキルの訓練期間という側面もある。共用サーバーに満足できなくなったとき発生するすべてのニーズにリーズナブルな料金で対応できるのが、at+link の専用レンタルサーバーだ。

### さまざまなユーザーの

### すべての要望に応えられるサービス

業務の形態に関わらず、共用レンタルサーバーからサービスの利用を始める企業は多いだろう。しかし、ビジネスでの活用が進み、サーバー利用の重要性が高まってきたとき、共用サーバーでは実現できない機能やクオリティといったニーズが出てくるケースは少ない。

共用サーバーの場合、たしかに安価であるし、ウェブサーバーやメールサーバーをとりあえず外部で運用するというのは、誰でも理解しやすい話だろう。しかし、従業員数が増えれば必要なアドレスも増える。ウェブにアクセスが集中すれば負荷が上がって、うまく見ることができない顧客が出てくるかもしれない。共用型サーバーにはこうしたさまざまな限界があるが、たとえばECサイトを運営するのであれば、サイトを見てもらえないのはビジネスチャンスを失うことになる。ECサイトの例

に限らず、インターネットのビジネス活用には、さまざまな要望が出てくるものだ。個人情報保護法に対応した施策が必要になったり、データベースとの連携を取らなくてはならなくなったりなど、そのニーズはユーザーごとにそれこそ千差万別だが、専用サーバーならそうした個別のニーズにすべて柔軟に対応することができる。

やどかりが成長に合わせて殻を脱ぎ変えるように、共用サーバーから専用サーバーへと利用変更を考えなくてはならないタイミングを迎える企業は、決して少なくないのだ。at+link が提供する AT-LINK 専用サーバーサービスは、そんなときに検討してほしい、高品質でリーズナブルな専用レンタルサーバーサービスだ。

### ビジネスの発展に欠かせない 人材のスキルアップ

しかし、専用サーバーを運営していくのは

担当者の運用ノウハウに不安があるという企業も少なくないだろう。at+link のレンタルサーバーの利用企業でも、担当者のスキルは個々に違いがあるが、それぞれに満足してもらえる対応を取るのが基本だという。

サーバー管理者は経理と同様専門職で経験がものを言う。at+link では、初めて専用サーバーを利用するユーザーから、スキルと知識の豊富なユーザーまで、すべてのニーズに対して的確に応える。そうした専用サーバー利用の中で、企業のサーバー管理者が、専門職として力をつけていき、また新しいニーズが生まれ、それに応えるという顧客満足度のサーキュレーションができるのだという。マシントラブルには無償で24時間365日アットタイムに対応する、フルマネージドサービスがユーザーに安心感を与える。同社における全体の契約増加件数のうち、既存ユーザーの拡張契約が75~80%と高く、基幹系の利用も多いというのが、このことを証明している。

### キャンペーンマシンの料金

価格はすべて税込

名称	CPU	メモリー	HDD	初期費用	月間利用料*1*2
スタンダードパッケージ	Celeron-D 326(2.53GHz)	512MB	SATA 80GB	52,500円	東京NOC利用の場合 30,450円(23,100円) 富山NOC利用の場合 19,950円(14,700円) 帯域保証サービス 23,100円(17,850円)
ターボパッケージ / 512MBモデル	Celeron-D 336(2.8GHz)	512MB	SATA 160GB	84,000円	
ターボパッケージ / 1GBモデル	Celeron-D 336(2.8GHz)	1GB	SATA 160GB	94,500円	
モンスター 531Jパッケージ 1GBモデル	Pentium 4 531J(3GHz:L2 1MB)Hyper-Threading XD bit 機能対応	1GB	SATA 160GB	115,500円	
モンスター 531Jパッケージ 2GBモデル	Pentium 4 531J(3GHz:L2 1MB)Hyper-Threading XD bit 機能対応	2GB	SATA 160GB	136,500円	

### SATA トリプルパッケージ( RAID1 + バックアップディスク )の料金

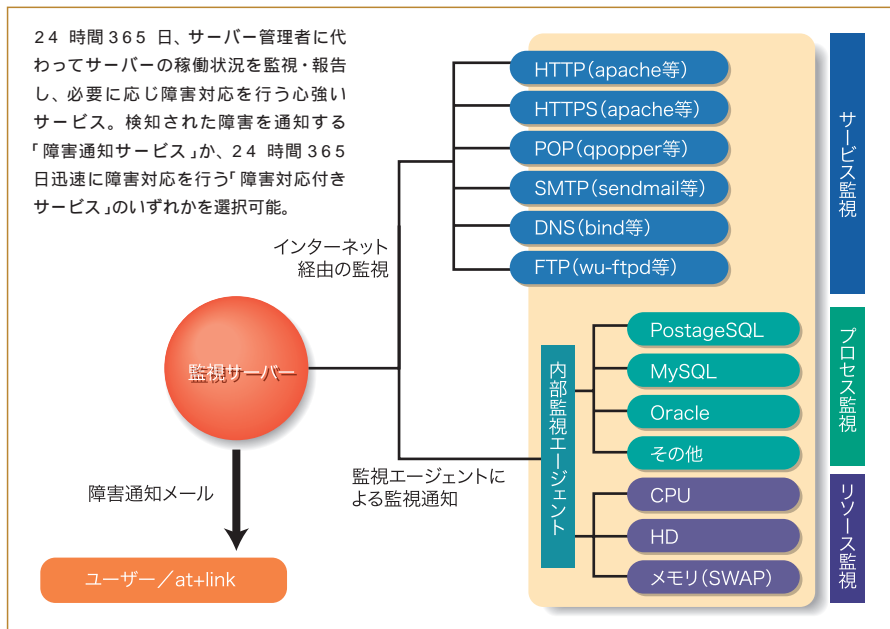
価格はすべて税込

名称	CPU	メモリー	HDD	初期費用	月間利用料*1*2
モンスター 531Jパッケージ 1GBモデル	Pentium 4 531J(3GHz:L2 1MB)Hyper-Threading XD bit 機能対応	1GB	160GB SATA x 3 (RAID 1 + Backup)	275,250円	東京NOC利用の場合: 40,950円(31,500円) 富山NOC利用の場合: 19,950円(14,700円) 帯域保証サービス: 33,600円(26,250円)
モンスター 531Jパッケージ 2GBモデル	Pentium 4 531J(3GHz:L2 1MB)Hyper-Threading XD bit 機能対応	2GB	160GB SATA x 3 (RAID 1 + Backup)	299,250円	

いずれのマシンもハードディスクやメモリーの交換が可能。

\*1 月間利用料の括弧内は代理店または2台目以降の料金

\*2 帯域保証サービスは、別途初期費用36,750円、月間利用料31,500円/1Mbps ~が必要



サーバー監視サービス ServerWatch の仕組み

**必要十分なハイスペックを  
リーズナブルなコストで提供**

もちろん、at+linkのサービスが支持されているのは、そうしたサービス姿勢のみによるものではない。低料金で高機能のレンタルサーバーサービスが受けられるからこそ、スタート以来9年間、順調に利用者を伸ばしているのだ。

マシン選択はオリジナルマシン 10機種(27モデル)を揃え、他社選択も可能で、初期費用は36,750円から。マシンスペックはCPUがCeleron-D 2.53GHz以上、メモリーは512MBから、HDDは80GBからとなっている。

月間利用料は富山NOCで19,950円(2台目以降14,700円)、東京NOCで30,450円(2台目以降23,100円)。OSとしては、Red Hat Enterprise Linux ES [Version 3]を、ライセンス費用も月間利用料も一切なしで提供しているのが、コスト面では大変ありがたい。また、OSの選択肢としてWindowsServerも用意されている。

帯域は東京・富山NOCとも共用100Mbpsで、他に帯域保証回線サービスやBBコネクションサービス(Bフレッツ+シェアコネクト100)も選択することができる。

こうして見てくると、必要十分なスペックが、

非常にリーズナブルな価格で提供されているのがわかるだろう。

しかも、ビルドトゥオーダーの専用サーバーながら入金確認後、3~4週間で運用開始が可能だ。また、緊急立上げなら6営業日後、Ready-to-Goならなんと申込み翌営業日に運用を開始できる。

**サーバー監視から各種ツール提供まで  
サービスメニューも充実**

そのほかのサービスメニューも豊富で、ユーザーのさまざまなニーズに十分応えられるものばかりだ。

障害通知と障害対応のメニューが選べるサーバー監視サービス、ServerWatchは初期費用10,500円から、月額3,150円から利用でき、Linuxサーバーなら帯域監視、HTTP文字列監視、ファイル存在監視、ロードモジュール監視などが可能だ。オプションでログ監視もある。

Red Hat Enterprise Linux ES対応のサーバ管理ツール・スタンダードIIも無償提供されている。他に、人気の管理ツールPleskが有償で利用可能だ。

その他SSL-VPNサービスや、有償ストリーミングサービス(試用期間付)、ケータイサイト

**Red Hat Enterprise Linux ES  
待望のVersion 4 無償提供が  
間もなく受付開始**

国内で初めてRed Hat アドバンストホスティングパートナー契約を締結したat+linkでは、2005年3月より「Red Hat Enterprise Linux ES」の無償提供を開始。年間10万円の利用料(サブスクリプション費用)をユーザーが負担する必要がないというat+linkならではのサービスだ。2005年9月からは、待望のVersion 4の受付を開始予定。カーネル2.6系が実装され、セキュリティ機能やパフォーマンスが強化された最新版が無償で利用できる。



作成ツール「モバイルコントローラー」など、ユーザーのニーズで応えられないものはないのではないかというサービスメニューの充実ぶりだ。専用サーバーの魅力は自由度にあるというat+linkの主張が、豊富すぎるほどのメニューになっているといえよう。

なお、インキュベーターのために、初期費用と6ヶ月間の利用料金が無償のプログラムもあり、起業を考えている人やLinuxサーバーの運用トレーニングには大変ありがたいメニューだろう。

**「マネージドホスティングサービス」  
AT-LINK 専用サーバ・サービスの  
特長**

- サーバー監視サービス
- 帯域保証回線サービス
- コンテンツ制作
- E コマースサイト構築運用支援
- 運用・技術サポート/セキュリティ管理
- ネットワーク管理/マシン構築

問い合わせ先

AT-LINK 専用サーバ・サービス  
03-5785-0555  
(営業日 9:30 ~ 23:00 / 休業日 0:00 ~ 24:00)  
pr-info@at-link.ad.jp

IPS(不正侵入防御)機能を標準装備したレンタルサーバーパッケージサービス

## パワープラットフォームホスティングサービス

NTTコミュニケーションズ株式会社

[URL] <http://www.powerplatform.jp/>

レンタルサーバーの導入にあたって、忘れてはいけないのがセキュリティーの問題だろう。NTTコミュニケーションズの「パワープラットフォームホスティングサービス」では、不正侵入防御を標準装備しながら低価格を実現した、「セキュリティパック Entry」と共有ファイアウォールを装備した入門モデル「エントリーパック」の提供を開始した。

### 安全ニーズの増大に応える

#### 「セキュリティパック」

個人情報保護法の施行や、被害が急増している「SQL インジェクション」などのインターネット被害の影響で、セキュリティーへのニーズが高まっている。とくに企業の顔である公式サイトや信頼性が必須のEC サイトなどを運営する場合は、不正侵入や改ざんに対するセキュリティー対策がレンタルサーバーを選ぶ大きなポイントとなる。

従来のIDS(不正侵入検知)では、侵入を検知した後の防御は利用者の負担となっていた。リアルタイムかつ自動で不正侵入に対抗するには、IPS(侵入検知防御)を導入する必要があるのだが従来、IPS機能を利用したい場合、IPS用の機器を購入、設計から運用管理まで自己責任で行うしかなく、1,000万円近い初期投資や高度なITスキルが必要だった。

NTTコミュニケーションズは「グローバル



セキュリティー対策に優れた各種のパッケージから用途に最適なサービスを選ぶことができる

IPソリューションカンパニー」として、ホスティングをコアにしたサービス提供を行っており、そうしたサービス提供の核のひとつがセキュリティーであると捉えている。

そして、セキュリティーニーズの高まりに応え、同社の中小中堅向けの高機能・低価格な専用型レンタルサーバー「パワープラットフォームホスティングサービス」に、不正アクセスに対する防御機能IPSを業界で初めて標準装備した低料金の「セキュリティパック Entry」と、共有型ファイアウォールの利用でさらに安価な「エントリーパック」を2005年8月1日より提供開始した。

「セキュリティパック Entry」は、インターネットセキュリティシステムズ社製のIPS付き統合アプライアンス、Proventia M10を専用ファイアウォールとして使用、専用サーバー1台、100Mbpsインターネット接続(帯域確保型)、24時間365日の監視・サポート、SLA(サービス品質保証)をパッケージ化しながら、月額10万円を切る安価な料金を実現している。

「エントリーパック」では共有ファイアウォールの利用により、月額5万円台でサービスを利用できる。

これらのパッケージを利用することで、システム管理者の負担を軽減しながら、セキュリティーを強固にすることが可能になる。



こんなケースにお勧め!

すでにレンタルサーバーを利用しているがセキュリティーに不安を感じているユーザー  
自社もしくはハウジングからの移行を検討しているユーザー

### 「セキュリティパック」の豊富な機能が企業サーバーの課題を解決する

「セキュリティパック Entry」には主な機能として、トラフィック制御およびアクセス制御を行う「ファイアウォール機能」、プロトコル分析モジュール(PAM)により、110種類以上のプロトコルを解析し、未知の攻撃やワームの伝播活動などを自動的に検知・防御する「IPS機能」、新しいセキュリティーホール(脆弱性)が見つかると同時に仮想的にセキュリティーパッチが適用されている状態を作り出し、無防備な重要サーバーを攻撃から防御する「バーチャルパッチ(ISS Virtual Patch)」、OSに関する重要なパッチ情報をリリースと同時に通知する「パッチインフォメーション」の機能を持ち、総合的なセキュリティーの強化が可能だ。さらにオプションでアンチウイルス、アンチスパム機能を追加することも可能となっている。

#### セキュリティパック事例セミナー開催

NTTコミュニケーションズでは、パワープラットフォームホスティングサービスの豊富な事例をもとにセキュリティパックの詳細を解説するセミナーを実施中。

次回予定

2005年10月7日(金)

先着40名参加無料

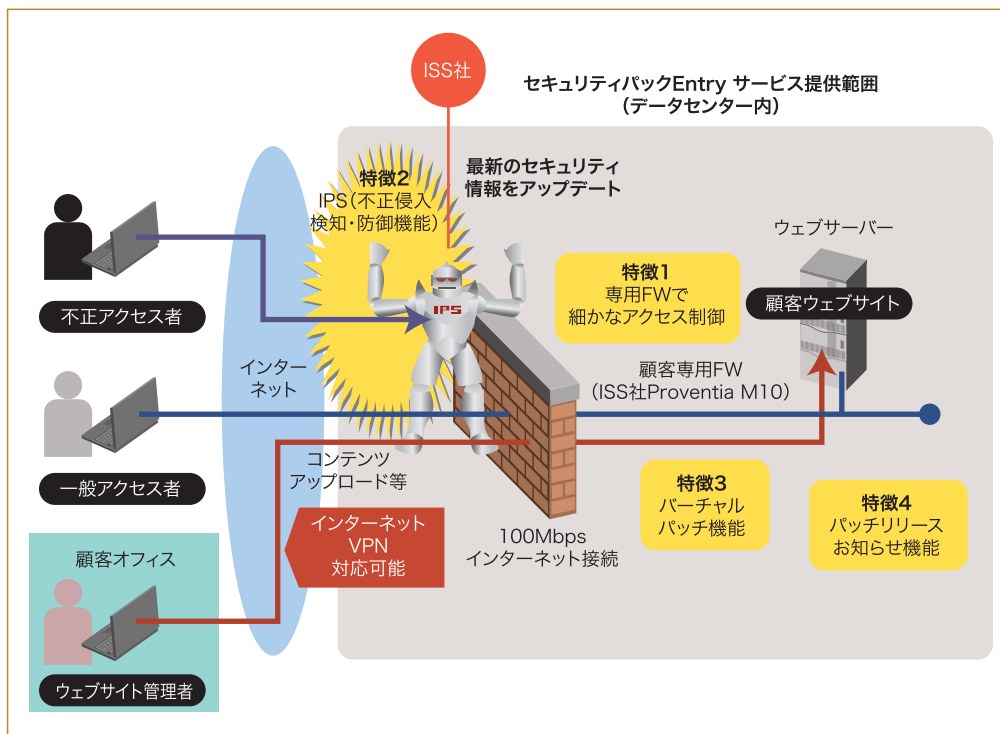
詳細は

<http://www.powerplatform.jp/sm1007.html>

#### PowerPlatform 提供料金

価格はすべて税込

	メニュー	月額料金
個別選択型	モジュラー	46,620円-
パッケージ型	エントリーパック	55,230円-
	セキュリティパック	99,960円-
短期利用型		82,845円-



セキュリティパックの概念図

こうした機能を持つ「セキュリティパック」をすでに導入している(株)アスキーソリューションズでは「コスト面、拡張性面、安全面などすべての問題が解決され、システムの信頼性、ひいては企業の信頼性が向上している」という。

### 「パワープラットフォーム」が 自由なアップグレードを可能にする

今回「セキュリティパック」をそのラインナップに加えた「パワープラットフォームホスティングサービス」は、NTTコミュニケーションズが提供するレンタルサーバーサービスの中でも中規模以下の企業向けに特化した、たいへん自由度の高いサービスだ。すでに国内100

サーバ以上の提供実績を持ち、ユーザーニーズに沿った標準的なハードウェア等のセットであるお得なパッケージ型のほか、個別選択型や短期利用型のサービスを提供している。パッケージ型にもニーズに合わせた拡張が可能で、540種類の豊富なオプションサービスから必要な機能を自由に選択できる。たとえば、セキュリティを第一義に低価格の「エントリーパック」で必要最小限のスペックからスタートしても、ユーザーのビジネスの成長に合わせて、豊富なオプションサービスから必要な機能を追加・変更することが可能だ。

従来のホスティングの概念を覆す自由度から、自社サーバーやハウジングからの移設も

多い。しかもそういった企業の大半が大幅なコスト削減に成功している。

このほか同社では、大企業や官公庁などでのニーズに応える上位モデル、SLA100%の高可用性のオンデマンド型ホスティング「AGILIT」も用意している。

安全・コスト・拡張性、今後のレンタルサーバー導入でこの3点を重視するなら、NTTコミュニケーションズの「パワープラットフォームホスティングサービス」を、選択肢として検討すべきだろう。

#### セキュリティパックの特長

- IPS(不正侵入検知・防御)
- 専用ファイアウォールで細かなアクセス制御
- セグメント切り分け
- アンチウイルス
- VPNでセキュアな通信
- パッチリリースお知らせ機能

問い合わせ先

NTTコミュニケーションズ株式会社

03-6800-8019  
(9:00 - 18:00 土日・祝日は休業)  
powerplatform@ntt.com



IT マネジメントサービス事業部  
PowerPlatform PT 担当部長  
福岡弘高氏

「お客様のあらゆるニーズに応えるのが、レンタルサーバーの鉄則。セキュリティパックはその一環です」



PowerPlatform PT 山口吾郎氏  
「IPS 機能をレンタルサーバーで提供することで、お客様のセキュリティ負荷を大幅に軽減できます」

#### 導入事例：株式会社アスキーソリューションズ

パッケージソフトウェア事業を手がける(株)アスキーソリューションズでは、以前よりオフィシャルサイトに「パワープラットフォーム」を利用してきたが、新規にASPサービスを手がけるインフラとして、「初期投資およびランニングコストを低く抑えたい」、「ビジネス規模に応じて拡張していきたい」、「企画決定後、早急に実施したい」、「高いセキュリティと安定性を確保したい」などの条件をクリアした「セキュリティパック」を導入。2005年1月より独自ASPサービス SiteTracker の提供を開始した。「パワープラットフォーム」導入の決め手は、これらの条件のほかに、「体系的な導入サポート」と「営業担当者のフットワーク」であったという。

事例詳細 <http://powerplatform.jp/case/>



データセンターならではの高信頼性と低コストを実現したレンタルサーバー

## さくらインターネット

さくらインターネット株式会社

[URL] <http://www.sakura.ne.jp/> <http://www.sakura.ad.jp/>

初期導入にあたってのコストという壁を限りなく低くするとともに、選択基準としてゆずれない高品質・高信頼性の期待にも確実に応えてくれる。

ビジネスの発展にあわせた拡張へのスピーディーな対応も可能なレンタルサーバーサービスを提供しているのがさくらインターネットだ。

### レンタルサーバーの直販モデルが 低価格なサービスを実現する

レンタルサーバーを個人で利用する場合と企業で利用する場合では、求められる機能にさまざまな相違が出てくるだろう。しかし、どちらのケースでも共通して求められるのはコスト面での導入のしやすさと、通信を含むサービスの安定性だ。さくらインターネットは、この2つの条件にとっても強いレンタルサーバーサービスを提供している。

その秘訣は、自社でデータセンターを運営しながらレンタルサーバー事業を展開しているため、中間コストが必要ないという点にある。野菜の産地直販ではないが、原価価格のサービスがダイレクトにユーザーに届けられるイメージだ。

共有型のライトプランでは300MBで月額換算125円という缶コーヒー並みの提供価格が実現されている。最近増加している無料のネットワークストレージ系のサービスとも、十分に比較検討しうる料金設定だ。しかもこの料金で独自CGIの使用も可能、メールアドレスも無制限など豊富な機能が網羅されている。

また、無料でついているウイルスチェックのスキャンエンジンはエフ・セキュア製。本来なら有料で提供されるほどの非常にクオリティの高いシステムだ。

### 技術的な裏づけがレンタルサーバーの 高信頼性を保証する

サービスの安定性、信頼性を裏づけるのはデータセンターとしての強力なインフラと、経験に培われた高い技術力だ。

バックボーンは国内最大級の総計42Gbps。自社発トラフィックの50～70%がユーザーまでダイレクトに配信され、高いスループットを実現している。その実力の証明として、同社のサービスを利用している企業に、大手ソーシャルネットワークサイトなどデータ流量の多いインターネット事業者が飛躍的に増えていることなどが挙げられる。また、ビデオリサーチの調査によれば、一般世帯のインターネット利用において、さくらインターネットが管理するIPアドレスに一定期間にアクセスした割合(リーチ率)は52.5%と驚くほど高い。これも、さくらインターネットのデータセンターにおいて



こんなケースにお勧め!  
はじめてのレンタルサーバー導入に  
躊躇している中小企業ユーザー

多くの人気コンテンツが運用されていることを示している。

企業がレンタルサーバーを利用する際、もっとも重視されるのがサポート面だ。その点においても同社のサービスは充実しており、24時間365日、常に技術者がデータセンターに併設されたオペレーションルームに控えてトラブルに対応している。予備のサーバーも常時準備されているため、障害時の代替機や、スペース拡張のオーダーにもスピーディーに対応できる。

### はじめてのレンタルサーバーに 最適な導入のしやすさ

ユーザーにとって、低料金の魅力は、やはり導入のしやすさだろう。自社内で運営しているメールなどのサーバーの運用コストと、内部運用のさまざまなリスクを計算してみれば、さくらインターネットのサービスが非常に低コストであることがわかるだろう。先に挙げたライトプランばかりでなく、月額500円で1GBのスタンダードプランや月額1,500円で3GBのプレミアムプランも、非常にコストパフォーマンス

個人向け共用サーバープランの機能と料金

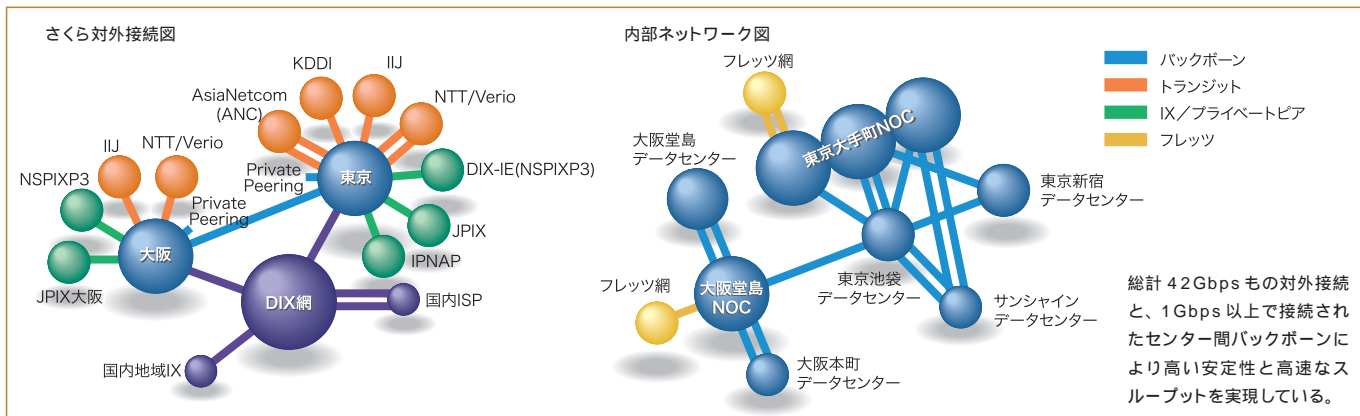
価格はすべて税込

プラン名	ライト	スタンダード	プレミアム
初期費用		1,000円	
利用料金(月払い)	-	500円	1,500円
利用料金(年払い)	1,500円	5,000円	15,000円
ディスク容量	300MB	1GB	3GB
独自ドメイン			
独自CGI			
シェルログイン	x		
PHP	x		
MySQL	x		
メールングリスト	x		

個人向け専用サーバープランの仕様

価格はすべて税込

項目	仕様
利用料金(月払いのみ)	6,800円
初期費用	29,800円
CPU	Sempron 2600+
メモリ	512MB
ディスク容量	40GB
選べるOS	FreeBSDまたはFedora Core
ネットワーク	100Base-TX 接続
IPアドレス	サーバー1台につき1個(追加不可)



さくらインターネットのバックボーン

スに優れている。スタンダードプランとプレミアムプランでは、シェルログインやPHP、MySQLの利用なども可能であり、ECの運用で魅力的なページを作りたいなど、より高度なサーバー活用を目指すケースでも検討に値する。

こうした、はじめやすさ、敷居の低さを受けて、同社の会員数はこの一年で数万の伸びを見せ、本年度中には10万にも達しようとしている。

専用サーバーへのアップグレードでビジネスが発展しても安心

さくらインターネットのサービスメニューは、導入のしやすさのみに特化しているわけではない。とりあえず安価なコースで開始しても、ビジネスが発展、データ流量が増えてきたら、月6,800円の専用サーバーに変更したり、法人向けやプロユースのサービスプランに変更したりなどの選択が簡単に行えるだけのフル

ラインのサービスメニューを取り揃えている。

さらに、大きな容量と帯域を必要とするウェブビジネスを展開する企業向けには、ここまで述べてきたwww.sakura.ne.jpのサービスとは別に、データセンター(www.sakura.ad.jp)としての専用サーバーサービスを提供している。専用サーバーサービスでは、多数用意されている「サーバレンタルプラン」と「回線サービスプラン」を自由に選ぶことにより、目的と予算に適したサービスを組み立てることができる。

RAIDも含む豊富なサーバーラインナップからのレンタルが可能で、メモリやHDDの拡張も可能である。また、回線は10M・100Mの共有か占有、1000Mの共有が選択可能で、ビジネス規模にあわせた帯域の確保が行える。

また、OSの選択肢も広く、標準的なOSにはすべて対応しているほか、WindowsOS

2003などの有償OSも、10Mプレミアム以上の回線プランを利用するユーザーには無償で提供される予定だ。

さくらインターネットのサービスプランは、このようにユーザーそれぞれのビジネス規模や目的、予算に応じたフルラインナップが取り揃えられている。はじめてのレンタルサーバー利用を考えている企業や、既存のホスティングを見直したいと考えているシステム担当者は、ぜひ一度検討すべきサービスといえるだろう。

さくらインターネットレンタルサーバーのさまざまな機能・特長

- 2週間のお試し期間付
- オンラインサインアップですぐに使える標準付属3つのサブドメイン。
- 20個までドメイン設定が可能
- CGIマネージャで簡易インストール
- コントロールパネルで簡単操作
- IMAP対応、高機能WEBメール

法人向け「専用サーバ」の料金(サーバーレンタルプラン)

価格はすべて税込

	プラン名称	初期費用	月額料金	CPU	メモリー	HDD
エントリー	Sempronモデル	31,290円	無料	Sempron 2600+	512MB	40GB
	CeleronMモデル	52,290円		CeleronM 340		80GB
ベーシック	Athlon64モデル	73,290円		Athlon64 3200+	1GB	120GB
	Pentium4モデル	104,790円		Pentium4 3.0GHz		
RAID	Athlon64 RAIDモデル	115,290円		Athlon64 3200+		120GB RAID1
	Pentium4 RAIDモデル	144,900円		Pentium4 3.0GHz		80GB RAID1
アドバンスド	IBM eServer xSeries 306	無料	10,500円	Pentium4 3.2GHz		

法人向け「専用サーバ」の料金(回線サービスプラン)

価格はすべて税込

名称	料金		ネットワーク環境		
	初期費用	月額料金	接続形態	帯域占有	
10Mスタンダード	無料	10,290円	10BASE-T	×(1.66Mbps 目安)	
10Mプレミアム		31,500円	10BASE-T	(10Mbps)	
100Mスタンダード		105,000円	100BASE-TX	×(25Mbps 目安)	
100Mプレミアム		315,000円	100BASE-TX	(100Mbps)	
1000Mスタンダード		525,000円		1000BASE-TX	×(200Mbps 目安)

問い合わせ先

さくらインターネット株式会社  
0120-775664  
(10:00 ~ 18:00 土日・祝日は休業)  
info@sakura.ad.jp

これからのレンタルサーバー選びはセキュリティー強化がキーワード

## アイル ホスティングサービス

アイル共用サーバーサービス

[ URL ] <http://isle.jp/>

共用サーバーの高機能・ハイパフォーマンス化と足並みをそろえるように、そのセキュリティー能力に関心が高まっている。「無停止システム」を搭載した次世代共用サーバー「iクラスタ」を提供するアイルも、現在「セキュリティー強化キャンペーン」を展開中だ。これからのレンタルサーバー選択では、セキュリティーへの注目がさらに高まりそうだ。

### 耐障害性に優れ、高速安定稼働を実現した月額945円からの共用サーバー

2005年5月30日に業界騒然の新共用サーバー「iクラスタ」をリリースしたアイル。各システムを複数層で構成させた自社開発のクラスタリングシステムを採用し、サーバー負荷やセキュリティー被害の問題を完全回避できる、まさに次世代共用サーバーサービスとして今注目を集めている。

一般的な共用サーバーはもちろんのこと、VPSや専用サーバーでさえも、負荷が高まり、障害が発生すると、一定時間完全にサービスが停止してしまう。ネットショップを運営する者などにとっては、売上を左右するほどの死活問題である。しかし、「iクラスタ」は、回線など重要な部分が全て冗長化/二重化されており、負荷分散装置が搭載されているため、耐障害性に優れ、常に安定したサーバー稼働を実現している。またBlog (Movable Type) もインストール可能で、時代のニーズに対応したサービスである点も素晴らしい。この業界最新・最

高レベルのパフォーマンスを、ユーザーは月額945円から利用可能。この機能にしてこの低価格の実現は、まさに業界の最前線を走りつづけるアイルだからこそできたことといえる。

### 共用サーバーのパフォーマンスアップがセキュリティーの重要性を加速する

有名サイトや大企業の情報漏洩やセキュリティー被害が後を絶たない。またそのたった1回の失敗が、企業やサイトの命取りとなりかねない。そういった現状を受け、「iクラスタ」は非常に充実したセキュリティー機能を搭載している。128bitの独自SSLが全プランで利用可能なほか、メールの送受信時やFTPアクセス時にデータを暗号化させるPOP over SSLやFTP over SSLを全プランに標準搭載。またメールを媒介としたウイルス感染や迷惑メールについても、メールウイルス除去サービスや迷惑メールフィルタなどの機能を搭載しており、快適なメール環境を提供してくれる。

一般的に共用サーバーといえば、自社ホー

#### 提供プランの内容と料金

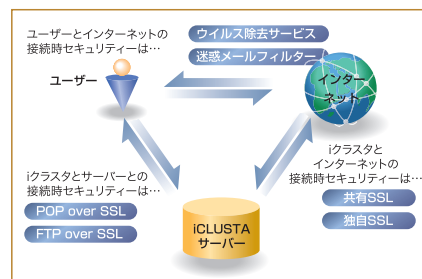
価格はすべて税込

	i-01	i-02	i-04	i-05
初期費用	9,450円	9,450円	9,450円	9,450円
月額利用料金	945円~	1,995円~	6,300円~	9,450円~
ディスク容量	50MB	100MB	600MB	1GB
独自CGI / SSI / PHP	-			
アクセス解析				
FTP over SSL				
MySQL / PostgreSQL (管理ツール付き)	-		/ 1	/ 2
メールアドレス (POP アカウント)	10	20	100	無制限
APOP / POP over SSL				
スパムフィルタ				
メーリングリスト	-	1000 x 1	1000 x 3	1000 x 5
メールウイルス除去 (送受信)				
Blog (Movable Type)		インストール可能		
無料サポート				

: 標準提供    : オプション



こんなケースにお勧め!  
サーバーに求める信頼感は、安定運用とセキュリティーだと考えるユーザー



独自SSLの標準搭載やメールおよびFTPでのセキュリティーなど、iクラスタには充実した対策が施されている

### 「セキュリティー強化キャンペーン」実施中

- 独自SSL 10,000円キャッシュバック
- メールウイルス除去 初期設定費用無料
- 専用サーバー共用型ファイアウォール初期設定費用(10,000円)キャッシュバック
- 専用サーバー専用型ファイアウォール初期設定費用(39,900円)キャッシュバック
- アイルなら、専用サーバーも24,900円~と低価格!
- 詳細はホームページをご覧ください。

ムページの開設自体が主目的で、そのサーバーが発揮するパフォーマンスまでは、あまり重要視されないケースが多かった。しかし、共用サーバーのパフォーマンスが上がるほどに、メインビジネスへの利用も増え、サーバー上のデータの価値や重要性も高まっている。だからこそセキュリティーが注目され、より安全性が強化されたサーバー環境が求められているといえる。

問い合わせ先

アイルカスタマーサービスセンター

03-6415-6111  
(平日 10:00 ~ 18:00)

<http://info.isle.jp/> メールフォーム)

共用でも管理者権限も使えるリーズナブルな大容量プラン

# @YMC レンタルサーバーサービス

株式会社アット・ワイエムシー

[ URL ] <http://www.ymc.ne.jp/>

共用サーバーは安価だが自由度が低いと思われがちだ。しかし、@YMCのバリュー(VPS= 仮想専用サーバー) プランは低料金ながら、ルート権限での利用をはじめさまざまな機能が詰まっている。

管理者のニーズをフルに実現できるレンタルサーバーサービスだ。

## 機能豊富な共用サーバー バリュー(VPS)プラン

レンタルサーバーの選択時にコストを取るか機能を取るかで頭を悩ますサーバー管理者は少なくないだろう。コスト優先で選択した結果、後からオプションで次々に機能追加せざるをえなくなり、けっこう高い買い物になってしまうことも稀ではない。

@YMCのバリュー(VPS)プランは、HD容量5GBの「バリュー5プラン」で月額12,390円、10GBの「バリュー10プラン」で月額15,540円とリーズナブルな料金設定ながら、メールアドレスは無制限でメールマガジンとしても利用できるメーリングリストや自動応答メール、POP-AUTHによるセキュアなユーザー認証、SSL、ログの取得と解析など、豊富な機能が基本機能として提供されている。また、SSIやPHP、フォームCGIやオリジナルCGIなどが利用できるのに加えて、データベース(MySQL+phpMyAdmin)の利用も可能だ。レンタルサーバーで実現したいほとんどの機能はこのプランで実現できるだろう。

また、これらの機能の多くをブラウザ上から実行できる管理ツール「@YMCコントロールパネル」が利用できるため、サーバー運用者の学習負担を大幅に削減することが可能だ。

## 専用サーバーのRAIDプランなら 安心の一台運用

ビジネス利用で、バリュープランではデータの容量などが窮屈な場合には、専用サーバーのRAIDプランがある。こちらは「RAID1スーパープラン」がHD容量80GB×2で月額19,950円、「RAID5プレミアムプラン」が80GB×3で月額29,400円と、専用サーバーながら低料金のサービスになっている。

もちろん機能的にはバリュープラン同様豊富なうえ、やはり一台のサーバーを丸ごと使える安心感を望む企業にはおすすだ。ビジネスの発展にともなって、バリュープランからの乗換えにも利用できる。

## 人気のブログバックや リーズナブルなキャンペーンも

@YMCのレンタルサーバーサービスはこのように本格派のプランを揃えているが、スタンダードな機能以外にも嬉しいメニューが豊富だ。その一例がブログバック。最近ではビジネス利用でも流行のブログ(MovableType)を、レンタルサーバー上で利用できるオプションサービスだ。バリュープランとRAIDプランには、1ユーザーライセンスが標準装備になっている。

また、コスト面でも2005年9月末日まで、

The screenshot shows the @YMC Rental Server Service website. It features a navigation menu with 'HOME', 'サービス', 'ドメイン', 'お問い合わせ', and 'サポート'. A main banner reads 'あなたの悩み @YMCが「格安」で解決します!!'. Below this, there are several promotional boxes for different server plans, including 'RAID1スーパープラン' (19,950円/month) and 'RAID5プレミアムプラン' (29,400円/month). A red banner at the bottom says 'こんなケースにお勧め! コスト優先のサーバー選択時にも機能を諦めたくない!'.

キャッシュバックキャンペーンが実施中だ。新規申込者を対象に、バリュープランで20,000円、RAIDプランで30,000円のキャッシュバックが受けられるため、実質1か月以上タダで使える計算だ。現在、レンタルサーバーの選択を考えているなら、お得なこの機会は見逃せないだろう。

## ビジネスで注目されるブログ活用

現在ではマーケティングやEC運動など、さまざまな活用されているブログ。@YMCでは、ユーザーのドメイン名にブログ用のサブドメインを設定、MovableTypeのインストールを行い、ライセンス料金込みでブログが利用できるオプションサービスが用意されている。

This screenshot shows the 'ブログバック' (Blog Back) service page on the @YMC website. It features a header with 'ブログバック' and a sub-header 'ブログについて'. The main content describes the service: 'ブログ、とは「ウェブログ (weblog)」を略した言葉で、従来のニュースや新聞の発表形式に加えて、個人的な意見や感想、習得を体系的に整理して公開するWebサイトのことです。' It also lists features like 'MovableType' and '@YMCの「ブログバック」なら、低料金でブログ(MovableType)の開設が可能だ'.

問い合わせ先  
株式会社アット・ワイエムシー  
0120-38-3849  
(10:00 - 12:00, 13:00 - 17:00 土日・祝日は休業)  
info@ymc.ne.jp

## 料金表

価格はすべて税込

	プラン名	月額	年一括払い	設定料	HD容量	メールアドレス
仮想専用サーバー	バリュー5(VPS)プラン	12,390円	141,750円	15,750円	5GB	無制限
	バリュー10(VPS)プラン	15,540円	178,500円	15,750円	10GB	無制限
専用サーバー	RAID1スーパープラン	19,950円	231,000円	99,750円	80GB	無制限
	RAID5プレミアムプラン	29,400円	341,250円	176,400円	160GB	無制限

SSL 付ショッピングカート標準装備のショップ向サーバー

## サイトサーブ

株式会社Eストアー

[ URL ] <http://Estore.co.jp/>

Eストアーはウェブショップに特化したレンタルサーバーサービスを提供している。独自ドメインのウェブショップを29,000ユーザー以上抱える同社のサービスは、その実績と経験に基づいて、初心者ユーザーにも満足してもらえる機能をそろえている。レンタルサーバーの利用目的がウェブショップという場合にはEストアーをチェックしたい。

### 80%の初心者ユーザーにもよくわかる解説

Eストアーの「サイトサーブ」は、ウェブショップに特化したレンタルサーバーサービスだ。同サービスのユーザーの80%が申し込みのタイミングでは初心者というだけあって、ネット上のショップ開設までの流れの説明はわかりやすい。たとえば、オリジナルドメインの取得を「お店の看板が持てます!」と解説する。

驚くことに同社のサービスでは、月額2,980円~の料金で、SSL搭載のショッピングカートはもちろん、顧客情報・商品情報やアンケート内容をすべて一元管理できる受注台帳、タナページの作成・在庫管理もできる商品管理などの機能を標準で装備しており、「サイトサーブ」だけでウェブショップを簡単に開設できてしまうのだ。

### ウェブショップのあれこれに満足できる豊富な機能

もちろん、「サイトサーブ」の魅力は、ウェブショップ開設のたやすさばかりではない。ショップ運営用レンタルサーバーとしての、非常

「サイトサーブ」料金表

サービス名	プラン	タイプ	初期費用	月額費用	ディスク容量
サイトサーブ30	年払	共用	9,450円	2,980円	100MB
	月払	共用	19,950円	3,675円	100MB
サイトサーブ50	年払	共用	9,450円	4,980円	150MB
	月払	共用	19,950円	6,195円	150MB
サイトサーブ100	年払	共用	9,450円	6,980円	200MB
	月払	共用	19,950円	8,190円	200MB
サイトサーブ200	年払	共用	9,450円	9,980円	300MB
	月払	共用	19,950円	11,550円	300MB
サイトサーブ600	年払	共用	9,450円	18,980円	600MB
	月払	共用	19,950円	23,100円	600MB
サイトサーブ1500	年払	共用	9,450円	34,980円	1.5GB
	月払	共用	19,950円	42,000円	1.5GB

価格はすべて税込

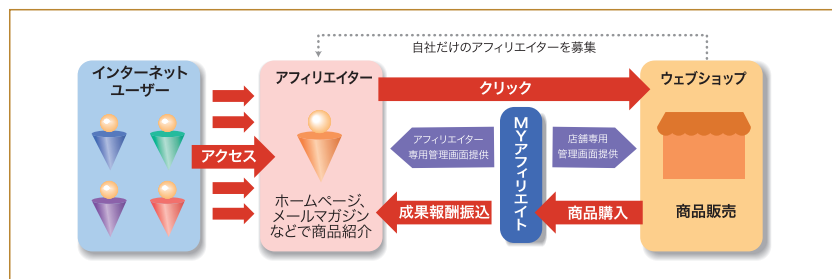
に豊富な機能を提供している。

面倒な商品・送料・手数料の計算を、ショッピングカート内で自動計算する機能や、ウェブショップ側から購入者に向けたアンケートの機能、購入者などにたいしてのポイントシステム機能、ブログ機能などを標準搭載するとともに、オプションでクレジット決済、コンビニ決済、電子決済機能を導入可能で、最高25種類の決済方法を利用できる。これらの機能はEストアーが常にユーザーの要望に耳を傾け続けてきたことによってできたもので、ユーザーの「使いやすさ」を考えた機能になっている。

さらに、Eストアーでは、ショップの開設・運営ばかりでなく、集客の方法まで提供している。ウェブショップをなかなか開始できない障



こんなケースにお勧め!  
初めてのウェブショップ開設用  
レンタルサーバーを探しているなら



壁となっている、「集客の難しさ = 広告宣伝のコスト高」を解消するために、月額基本利用料0円の独自アフィリエイトシステム「MYアフィリエイト」を、2005年7月より開始した。

その他、Eストアーが提携しているアフィリエイト広告代理店4社のプログラムをタグの入力など面倒な操作を行わずに、簡単に導入することができるサービスや、HTML等の言語を記述せずともフォームに入力するだけでSEO対策ができる「簡単SEO」、既存のショッピングモールに商品を出品することでウェブショップ本店への集客と売上げを増やすことを目的とした「支店出品」といったサービスも提供している。

また、Eストアーでは定期的にウェブショップを成功させるための支援セミナーも行っており、これからウェブショップ開設のためにレンタルサーバー導入を考えている人は「サイトサーブ」を検討すべきだろう。

問い合わせ先

株式会社Eストアー  
0120-675-604  
(平日10:00~19:00)  
info@Estore.co.jp

ウイルスチェック & スпам対策を無償提供の共用レンタルサーバー

# バーチャルウェブ

ネクストウェブ

[ URL ] <http://www.next-web.ad.jp>

大量の迷惑メール(スパム)に、頭を悩ませているユーザーも多いのではないだろうか。「バーチャルウェブ」は、メールのウイルス駆除に加えベイズ理論による迷惑メール対策機能まで標準提供する注目のサービスだ。

初めて利用するユーザーのための分かりやすい説明も充実している。

## すべてのメールアドレスで

### 安心のセキュリティ機能を無償提供

はじめてのレンタルサーバー選びでは、ディスク容量の大きさや料金の安さに目を奪われがちだが、日常的に利用頻度が高いメール機能もしっかり比較検討する必要がある。その点、ネクストウェブが提供する共用レンタルサーバー「バーチャルウェブ」はディスク容量などの基本機能はもちろんメール機能においても、誰もが納得できる条件を満たしているといえるだろう。

まず、基本料金だけでアドレス数を無制限で増やせるのはもちろん、すべてのアカウントでウイルスチェック機能を無料提供、さらに迷惑メールフィルターが標準提供されている点が大きな特長だ。

迷惑メールフィルターはベイズ理論(コラム参照)を採用し、使い込むほどにフィルターの精度が向上していく。フィルタリングのレベルは5段階の調節またはオフが可能。スパムと判定され遮断されたメールについてはブラウザで確認ができるので、重要なメールが誤って自動削除され読めなくなるといった心配もない。

配もない。

## 入門者向けからビジネス向けまで 3つのタイプから選べる

基本タイプの「バーチャルウェブ」はディスク容量400MBと、広さは必要十分。さらに大容量のディスクを希望のユーザーには800MBの「バーチャルウェブPlus」が用意されている。また、固定のIPアドレスを1個提供する上位プラン「バーチャルウェブBusiness」では、オプションでSSL機能を追加することも可能となっている。

「バーチャルウェブ」のサーバー設備は、ソフトバンク IDC の東京データセンター(有明)に設置。バックボーンはJPIXに1Gbpsで直結しているほか国内の主要相互接続ポイントと大容量回線で結ばれており快適なレスポンスに貢献している。

なお、ネクストウェブの公式サイトには、レンタルサーバー入門者のための解説ページ「はじめてのホスティング」が掲載されているので、専門用語に戸惑いがちなユーザーは、ぜひ一度目を通しておくといいだろう。

## 料金表

価格はすべて税込

	バーチャルウェブ	バーチャルウェブPlus	バーチャルウェブBusiness
初期設定料(税込)	3,780円	7,560円	15,750円
月額利用料(税込)	3,780円	7,560円	15,750円
基本ディスク容量	400MB	800MB	1.6GB
メールアドレス数	無制限		
ウイルスチェック	全メールアドレス対象		
迷惑メールフィルタ	可能(自動学習型)		
カスタムCGI	設置可能		
PHP	設置可能		
データベース	MySQL 利用可能		
IPアドレス	共有	共有	1
SSL	-	-	オプションにて利用可能



こんなケースにお勧め!

アンチウイルス機能に加えて、スパム対策機能を重視するユーザー

## スパム判定の精度を高める「ベイズ理論」

ベイズ理論とは『過去に起きた事象の発生頻度を元に、未来の出来事の発生頻度を予測する』確率論のこと。バーチャルウェブの迷惑メールフィルターはベイズ理論を採用することで、過去の迷惑メールのパターンを学習し、新たに受け取ったメールがスパムかどうかを予測する。この仕組みにより、使うほどに判断の精度が高まっていく。



ブロックされた迷惑メールは、専用コントロールパネルで「迷惑メールフォルダ」を開くと一覧できる。判定が誤っていた場合、ユーザーが手動学習させることも可能だ。



「はじめてのホスティング」コーナーでは、初心者にとって理解が難しい技術内容をイラスト付きでわかりやすく解説。

問い合わせ先

ネクストウェブ株式会社

03-5649-3700  
(平日 10:00 ~ 18:00)

info@next-web.ad.jp

用途別オールインワンプランが便利な共用サーバー

## Domain Keeper

株式会社ハイパーボックス

[ URL ] <http://www.domain-keeper.net/>

安価な基本料金でのオールインワンサービスというのは、レンタルサーバーの利用を考える多くのユーザーにとって理想だが、なかなか巡り会えない。

しかし用途によっては、それと一番近い理想的な環境が見つかるかもしれないのが Domain Keeper のレンタルサーバーサービスだ。

### 用途別で選べる

#### 共用サーバープラン

個人情報保護法の施行により、要求されるセキュリティ環境がこれまでと変化してきた職場も多いだろう。取引先や顧客が要求するセキュリティニーズを実現しないと、ビジネスの継続にも影響を及ぼすケースもある。Domain Keeper の共用レンタルサーバーのうち、「ストアマネージャープラン」や「ビジネスプラン」には、独自ドメインの 128 ビット SSL 証明書が標準で組み込まれて提供されているため、ネットを通じた安全なやり取りが可能となり、こうしたニーズにも対応できる。Domain Keeper のサービスの長は、サーバーの利用目的に留まらず、こうした「用途」にまで踏み込んで構成されたプランを揃えていることだ。

「ストアマネージャープラン」は、ショップ運営に特化されており、ディスク容量が 300MB でユーザー数が 50 までで月額料金が 5,250 円。メールアドレス数と転送量は無制限で、ショップ管理機能と独自 SSL が標準搭載され

ている。

「ビジネスプラン」はディスク容量が 1.5GB でユーザー数が 200 までで月額 10,500 円。同じくメールアドレス数と転送量は無制限で、MySQL、PostgreSQL と独自 SSL を標準搭載しており、データベースに強い。そのほか、デザイン事務所などに便利な複数ドメインアカウント(5 つまで)を利用可能な「SOHO プラン」も人気だ。

こうしたプランを専用管理ツールや、他社レンタルサーバーからの簡単移行ツールなどとともに提供しているため、サーバー管理者の負荷の低減が可能である。

#### 専用サーバープランも豊富

##### しかも 24 時間電話サポートで安心

Domain Keeper のレンタルサーバーは共用サービスばかりではない。同社の bluebox HostingService は、専用サーバーでのホスティング提供だ。同サービスはライトニーズの「エントリープラン」から高速・冗長性を確保



できる「セキュア 5 プラン」まで 6 種類、月額 20,970 円からのリーズナブルなプランを、36Gbps のバックボーンを背景とした安定環境で提供している。

また、最近ではウェブサーバー、DB、専用ファイアウォールなどの機器を組み合わせ、同社の組み込み OS や、Red Hat など別 OS ディストリビューションプレインストール提供のニーズも増えているという。DomainKeeper では、サーバーの運転監視はもとより、365 日 24 時間の電話サポートを 3 年以上にわたって提供しているため、専用サーバーの安全な運用も安心だ。

また、ブラウザからユーザーが電源を on/off できる、業界初の「遠隔電源制御システム」も搭載し、使い勝手を上げている。

問い合わせ先

株式会社ハイパーボックス  
03-5537-6080  
(24 時間受付)  
support@domain-keeper.net

### 料金表

価格はすべて税込

プラン名	スタンダード	アンチウイルス	ビジネス	SOHO	ストアマネージャー
初期費用	5,250 円	8,400 円	10,500 円	15,750 円	26,250 円 -
月額料金	2,100 円	3,150 円	10,500 円	6,300 円	5,250 円
ディスク容量	100MB	100+50MB	1500MB	300MB	300MB
ユーザーアカウント	50 個	50+5 個	200 個	150 個	50 個
メールアドレス	無制限				
使用可能なツールなど	CGI/SSI/telnet/SSH/PHP				
メールのセキュリティ	APOP/IMAP4/POP before SMTP				
メーリングリスト	Majordomo 簡易版/5 メーリングリスト(100 メールアドレス/1 リストあたり)まで				
ウイルスチェック	オプション			オプション	
ショップ管理	x	x	x	x	
専用 SSL	オプション	オプション		オプション	
データベース	オプション	オプション		オプション	オプション
バックアップ	オプション	オプション	(RAID 1)	オプション	オプション

各プラン、容量増設、SSL 証明書アップグレードなどのキャンペーン実施中  
各プランは別途ファイルマネージャー機能で手動圧縮バックアップが可能

安心と安全を追求した hi-ho の共用レンタルサーバーサービス

## @hi-ho(アットマークハイホー)

パナソニックネットワークサービス株式会社

[ URL ] <http://home.hi-ho.ne.jp/is/>

レンタルサーバーの一番の条件は安全性と考えるユーザーがレンタルサーバーサービスを選択するなら、ウイルスチェック機能をはじめ、SPAM フィルター機能、submission ポート対応といった 3 つの機能を標準搭載した安心・安全な hi-ho のレンタルサーバーを選択肢として考慮すべきだろう

### レンタルサーバー初体験でも安心の「プランエントリー 10/100」が登場

ビジネス hi-ho のレンタルサーバー、@hi-ho に 10 月 1 日よりレンタルサーバー初心者にもフィットした「プランエントリー 10」「プランエントリー 100」が登場する。

「プランエントリー 10」がウェブ容量 10MB、メール容量 100MB(アカウント 10 個)で月額 2,940 円。「プランエントリー 100」がウェブ容量 100MB で、メール容量は同じく 100MB だがアカウントは 100 個まで可能で、月額 4,725 円となっている。ともに共用型のサービスで、初期費用は必要ない。これまで自社内に置いていたメールサーバーやウェブサーバーを外部に出したいと考えたとき、検討に値するリーズナブルな料金設定といえるだろう。

### @hi-ho が提供する安全・安心機能

「プランエントリー 10/100」の特長は、最近注目されているセキュリティ面に力を入れている点で、ウイルスチェックと spam フィル

ターを標準搭載している。自社サーバーでウイルス対策や spam 対策に頭を悩ませていたシステム管理者の工数削減が可能だ。

さらに、submission ポートにも対応しており、spam 対策でメール送信を制限しているプロバイダー経由でもメール送信が可能となっている。また、ウェブ上で操作できる管理パネルを使用するため IT スキルに関わらず手軽に利用でき、電話サポートも充実しているため安心して利用することができる。また、ロードバランサー(負荷分散)を採用することで、突発的なアクセス増加や障害にも強くなっている。なおプランエントリーは、年内無料キャンペーンを実施するため、レンタルサーバーの導入を検討している人にはますます魅力的といえるだろう。

### ビジネスの成長にも対応できる「プランスタンダード」「プランカスタム」

共用型の「プランエントリー 10/100」ではビジネス利用に限界を感じるようになってきたときには、月額 49,980 円の専用型「プランスタンダード」への移行も可能だ。80GB の大き



### こんなケースにお勧め!

ビジネスユーザーや個人ユーザー  
はじめてのレンタルサーバー導入に  
躊躇しているビジネスユーザー

な容量があり、SSL にも対応したセキュリティへの高いこだわりを持ち共有ファイアウォールを標準装備した高スペックのサーバーは、インターネットのビジネス活用が本格化しても十分なキャパシティーを持っている。また、個人向け ISP サービスで培った高い技術力を持った技術者がユーザーの要望に応じた自由なカスタマイズを実施し、大企業や官庁などでの利用実績がある「プランカスタム」も用意されている。

### submission ポート

メールの配信には通常 TCP の 25 番ポートが用いられるが、このポートは SPAM 配信のターゲットにもなりやすく、プロバイダーによっては、利用を制限しているケースもある。そのため 587 番ポートをメール配信用に利用する仕組みが submission ポートだ。submission ポート対応のレンタルサーバーなら、どんなプロバイダー経由でもメールを自由にやり取りできる。

### 問い合わせ先

パナソニックネットワークサービス株式会社  
0120-898140  
hojin@hi-ho.ne.jp

### 料金表

価格はすべて税込

	プランエントリー 10	プランエントリー 100	プランスタンダード(2005/11/1~)	プランカスタム
初期費用	なし	なし	69,300 円	210,000 円
月額料金	2,940 円	4,725 円	49,980 円	189,000 円
容量	メール:100MB(アカウント 10 個)、WEB:10MB	メール:100MB(アカウント 100 個)、WEB:100MB	80GB x 2(RAID1)	72GB x 2(RAID1 ~)
管理パネル			Atom Server Desktop	( HDE ほか )
ウイルスチェック			( )	( )
SPAM メール対策			( )	( Cloudmark )
submission ポート			2006 年 3 月対応予定	
SSL	x	x	( )	( )
稼働監視	死活監視	死活監視	死活監視	死活監視・稼働監視

: 標準装備 ( ): オプション



強力なセキュリティが特長の共用・専用レンタルサーバー

## WADAX

株式会社ワダックス

[ URL ] <http://www.wadax.ne.jp/>

「セキュリティ」は、レンタルサーバーの選択にあたっては避けずは通れないキーワードとなっている。すべての共用プランでセコムの定期的な脆弱性診断や、不正侵入検知サービスなど強固なセキュリティ対応を実現した WADAX のサービスは、ユーザーにとってもビジネス上の強力な武器になるだろう。

### 定期的な脆弱性診断と

#### 不正侵入検知でサーバーを保護

フィッシング詐欺の増加や個人情報保護法の施行など、セキュリティ関連の話題には事欠かない昨今だが、レンタルサーバーの選択にもセキュリティは重要なキーワードになっている。

ワダックスの共用レンタルサーバーサービスは、もっとも安価な「ブロンズ」から高機能の「エグゼクティブ」まで、用途に合わせて豊富なプランが提供されているが、なんといっても特筆すべきなのが、セコムトラストネット(株)との業務提携による強固なセキュリティサービスがすべてのプランで利用できる点だろう。

まず、共用サーバーにおいても専用サーバーと同様、定期的な脆弱性診断が行われ、「盗聴」「改ざん」「データ破壊」などの脅威からユーザーのネットワークが保護される。また、「セコム不正侵入検知サービス」により、ユーザーのウェブサーバー、DNSサーバー、メールサーバーなどに頻繁に行われている不正アクセスや、サーバーに仕掛けられた悪意のあるプログラムの発する情報を、セキュリ

#### 共用型サーバーの料金

価格はすべて税込

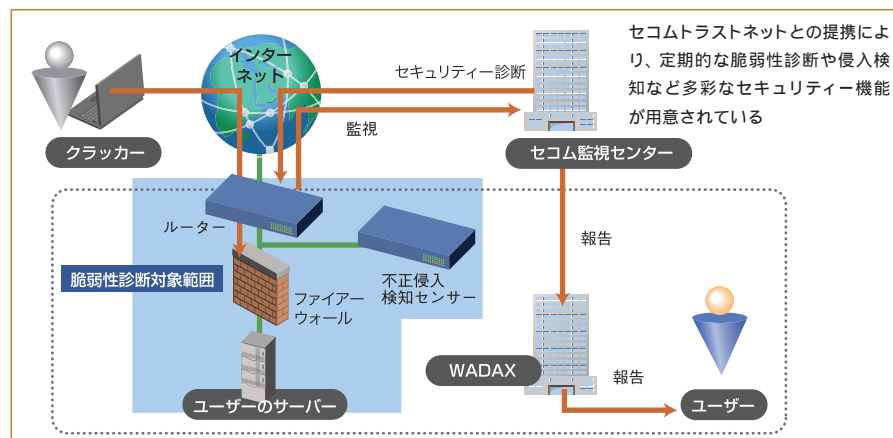
項目価格	
ブロンズサービス	初期費用：3,000円 月額費用：1,995円～(12か月契約の場合)
シルバーサービス	初期費用：3,000円 月額費用：2,833円～(12か月契約の場合)
ゴールドサービス	初期費用：3,000円 月額費用：3,833円～(12か月契約の場合)
プラチナサービス	初期費用：3,000円 月額費用：5,833円～(12か月契約の場合)
ダイヤモンドサービス	初期費用：3,000円 月額費用：7,833円～(12か月契約の場合)
エグゼクティブサービス	初期費用：15,000円 月額費用：11,833円～ (12か月契約の場合)

現在、初期費用が無料となるキャンペーン実施中



こんなケースにお勧め!

自社ホームページのアピールポイントとしてセキュリティを重視しているユーザー



ティエキスパートが24時間365日監視。危険度の高いと判断される不正アクセスについては、即座にユーザーに通知されるようになっている。

### 全サービスで専用 SSL

#### 「セコムパスポート for Web」に対応

さらに SSL サーバー電子証明書サービス「セコムパスポート for Web」がすべてのプランでオプション利用(「エグゼクティブサービス」および「専用サーバーサービス」では無料)できる点も見逃せない。最短2日で証明書が発行され、128ビットの暗号化通信機能の利用とセコム Web ステッカーをホームページに貼付できるようになる。企業のセキュリティ重視の姿勢をアピールし、利用者に安心感を与えるためには何よりの選択だろう。

なお、同社の専用サーバーサービス「W-SecureServerPlus」では、脆弱性診断の結果を詳細な診断書で受け取れるほか、セコムの

強固なセキュリティシステムを無料で使うことができる。

同社では9月末まで、契約期間が1か月でも1年でも初期費用が無料になる乗り換えキャンペーンを実施しており、すでにドメインを取得している人が手軽にサービスを移行できるようにしている。また、共用サーバーの全プランで「30日間返金保証」をうたうなど、試しにサービスを利用してみたい人への対応も万全だ。

自社ホームページのセキュリティを強固にして、対外的にも安全性をアピールしたいと考えるなら、ぜひワダックスのサービスを検討すべきだろう。

問い合わせ先

株式会社ワダックス

0120-963-388

(平日 9:00 ~ 22:00 / 土日祝 9:00 ~ 18:00)

info@wadax.ne.jp



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)